

2月 の行事予定

1	水	全校朝会	街頭：小浦	16	木	新1年生学校探検 10:30～
2	木	三校合同研修会	午後放課 13:45	17	金	保育所との情報交換会 15:30～
3	金			18	土	第9回土曜授業 (1月14日分)
4	土	第10回土曜授業		19	日	
5	日			20	月	校内研修Ⅲ(担当校訪問)
6	月	クラブ活動		21	火	奥能登スキルアップテスト①
7	火			22	水	奥能登スキルアップテスト② 校内研修Ⅳ(道徳)
8	水	校内研修Ⅰ		23	木	
9	木	5・6年生宿泊スキー体験学習①		24	金	学校公開, 授業参観, 学級懇談, 広報委員会, 学校評価委員会
10	金	5・6年生宿泊スキー体験学習②		25	土	
11	土	建国記念の日		26	日	
12	日			27	月	職員会議
13	月	午後放課 12:45 (臨時バス)		28	火	
14	火			1	水	
15	水	校内研修Ⅱ(要請訪問)	街頭：北岡, 角	2	木	
		※中止になった1月の土曜授業を18日に行います		3	金	6年生を送る会

心新たに

3学期は進級・進学に向けての大切な滑走路!! 飛び立つために必要なもの!!!
 そのために①毎週の短作文づくり, ②8の字跳び, ③読書がんばるよう, 校長先生が話してくれました。



校内書き初め大会

入賞 はばたき
 3年
 4年
 4年
 6年
 6年



市子ども作品展で4年 くんは、「市子ども育成会連絡協議会長賞」を受賞

目標まであと少し!

冬休み中の家庭学習目標は、3・4年生が60分以上、5・6年生が90分以上でした。結果は・・・
3・4年生・・・54.2分、5・6年生・・・72.8分で残念ながら目標に届かずでした。何かと誘惑の多い環境の中子どもたちはがんばったと思えます。しかし、3学期がスタートして3週間が過ぎたのですから、学年末の締めくくりとして、**60分・90分以上を達成してくれる**ことを期待しています。

3学期の学力向上プラン

2学期は「キーワードを使って、結論+理由で説明できる子」を目標にして指導をしてきました。ほとんどの子がキーワードを使い、結論と理由で説明ができるようになりました。そこで3学期は、より相手に分かりやすい「理由」を書いたり発表したりできる子を目標にして、以下のように取り組めます。

- ①各授業では、学習用語やキーワードを提示して、「結論+理由」の形で表現できる場を積極的に取り組む。
- ②毎週1回の短作文づくりでは、3～6年が同じ部屋で行い、よい作文に触れる機会を増やす。
- ③スキルアップ問題(学力調査過去問)の中で、「結論+理由」の解答様式の問題を月曜日に教えて、木曜日に自力解答していくことで、子どもたちの学力を高めるとともに、取り組みの検証を行う。
- ④授業での子どもたちの表現の様子を発表内容やノートの記述を見て点検する。
- ⑤チャレンジタイムを活用して、学習内容の定着が弱い分野を復習し、進級・進学させる。以上です。

南志見小学校は3学期も、「高く! 正しく! 熱く! 挑戦(チャレンジ)!」し続けます。



「道徳コーナー」は、今月号お休みします。

南志見小だより 「チャレンジ！」

平成29年 1月25日号 輪島市立南志見小学校 文責: 柚木
 (☎ 0768-34-1004 Fax0768-34-1007 E-mail: naes203@po.city.wajima.ishikawa.jp)

今年もよろしくお祈りします!

平成29年がスタートして1ヶ月が過ぎようとしています。あいさつが遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお祈り致します。

新春にふさわしい、うれしいお知らせが二つあります。一つは、3学期から転校生1名を迎えることになりました。名前は杉山優斗君(5年生の男子)です。皆さんよくご存じの尊利地の区長をされています浦さんのお孫さんです。杉山君は小さいころから田舎の生活に興味を持っており、この度3学期だけの予定で転校して来ました。本校の5年生は、南君一人だったのでとてもうれしく思います。

もう一つは、船本先生が今月15日にめでたくご結婚されました。今後は幸せな家庭を築かれるとともに、教育者としてますますの活躍をお祈り致します。なお、苗字が小路(しょうじ)にかわります。以上大変幸せなスタートをきることができた南志見小学校からのお知らせでした。



昨年末に北國新聞に掲載された木戸龍治君の作文を読みましたか。その作文は「体育が苦手だけど、2学期に腹筋と壁倒立ができるようになった。しかし怠けているとまたできなくなる。だから一生懸命練習に取り組んでいる。」という内容です。龍治君の素直な人柄が目につかび、とてもほほえましく素朴な文章だと思いました。また、苦手な事から逃げずに立ち向かうことが、まさに「挑戦」(チャレンジ!)だと再認識させていただきました。

漫画家の西原理恵子さんは、美術に関係する勉強をたくさんする一方で、嫌いな学科の勉強もやったそうです。そのせいで「勉強に対する筋肉」がつき、その後の漫画家の仕事にも役に立ったと言っています。また、受験勉強を一生懸命やった高学歴の人や、厳しい練習に耐えて運動部に所属していた人は、困難な課題に立ち向かうことができる「心の体力」を持っていると言っています。そして「嫌なこと(苦手な事)を一生懸命やる経験が必要なんですよね」という言葉を龍治君の作文を読んで思い出しました。



本校は、小さな学校で児童数も少ないです。でもこの子達はずっと小さな社会で少人数の場所で生きていくわけではありません。大きな社会で大勢の場所でも決して臆せず、自分の思いを伝えることができる人に成長して欲しいです。そのためにも「嫌なこと(苦手な事)を一生懸命やる経験」がとても大切だと思います。そして、その経験を積み重ねることで、困難な課題に立ち向かうことができる「心の体力」をつけることができるはずですよ。

1月11日の始業式に19名全員が元気に登校したことが何よりうれしく思います。我々教職員は、子ども達の安全と安心できる学校、困難な課題に立ち向かうことができる「心の体力」をつける学校にしていきたいです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援・ご協力をいただき、昨年以上に誠心誠意子ども達に向き合っています。本年もどうかよろしくお願いいたします。

校長 小浦 孝行

